



NISSHA

2020年12月期 第3四半期 決算説明会

2020年11月11日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日のポイント

2020年12月期 第3四半期（7-9月）の実績

IFRS

- 需要が堅調、収益力強化策の効果が加わり収益性が改善（為替レート：¥106/\$）
 - 売上高 516億円、営業利益 45億円、税引前利益 44億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益 36億円
 - デバイス：スマートフォンおよびタブレット向けの製品需要が拡大期に移行
 - 産業資材：モビリティ向けの製品需要が回復基調
 - メディカルテクノロジー：新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、受託製造分野で待機的手術向けの製品需要が弱い、ビジネスメディアは持ち直し

2020年12月期 通期の見通し

IFRS

- 通期業績予想を上方修正（Q4想定為替レート：¥105/\$）
 - 売上高 1,780億円、営業利益 55億円、税引前利益 53億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 46億円
 - デバイス：スマートフォンおよびタブレット向けの製品需要が想定以上に推移
 - 産業資材：モビリティ向けの製品需要がCOVID-19の影響から想定を上回る回復

トピックス

- オリンパスグループの治療機器事業を手がけるノーウォーク工場（アメリカ、オハイオ州）の資産買収をクロージング（11月2日）

2020/12期 Q3（3カ月）の実績

デバイスのIT向けの製品需要が急拡大したことに加え、産業資材のモビリティ向けの製品需要が回復

収益力強化策の効果が加わり、収益性が改善

(百万円)

	2019/12期 7-9月 (Q3) 実績 IFRS	2020/12期 4-6月 (Q2) 実績 IFRS	2020/12期 7-9月 (Q3) 実績 IFRS	前年同期比 (2019/12期 7-9月比)	前四半期比 (2020/12期 4-6月比)
売上高	51,947	37,689	51,620	▲0.6%	+37.0%
産業資材	11,520	10,467	12,741	+10.6%	✓+21.7%
デバイス	32,848	21,053	32,153	▲2.1%	✓+52.7%
メディカルテクノロジー	5,929	4,586	5,068	▲14.5%	+10.5%
情報コミュニケーション	1,544	1,201	1,233	▲20.1%	+2.7%
その他	105	380	423	+302.9%	+11.3%
営業利益	※1 6,789	※2 ▲ 2,308	4,500	▲33.7%	黒字化
営業利益率	13.1%	-6.1%	✓8.7%	-4.4pt	+14.8pt
税引前利益	6,598	▲ 2,212	4,416	▲33.1%	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	5,741	▲ 1,106	3,606	▲37.2%	黒字化
為替レート	¥106/\$	¥106/\$	¥106/\$		

※1. 固定資産売却益50億円含む ※2. 収益力強化策の一時費用▲20億円含む

2020/12期 Q3累計（9カ月）の実績

前年同期比 増収増益、製品需要の平準化が寄与

営業利益は、一時的な要因による損益（※1、2）を除くと前年同期比で約100億円の改善

(百万円)

	2019/12期 1-9月 (Q3累計) 実績 IFRS	2020/12期 1-9月 (Q3累計) 実績 IFRS	前年同期比
売上高	126,355	128,785	+1.9%
産業資材	34,806	35,155	+1.0%
デバイス	68,133	72,743	+6.8%
メディカルテクノロジー	18,215	15,354	▲15.7%
情報コミュニケーション	4,903	4,382	▲10.6%
その他	297	1,149	+286.9%
営業利益	※1 437	※2 3,258	+644.0%
営業利益率	0.3%	2.5%	+2.2pt
税引前利益	▲ 127	3,265	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 1,057	3,361	黒字化
為替レート	¥108/\$	¥107/\$	

※1.固定資産売却益50億円含む ※2. 収益力強化策の一時費用▲20億円含む

産業資材

Q3結果

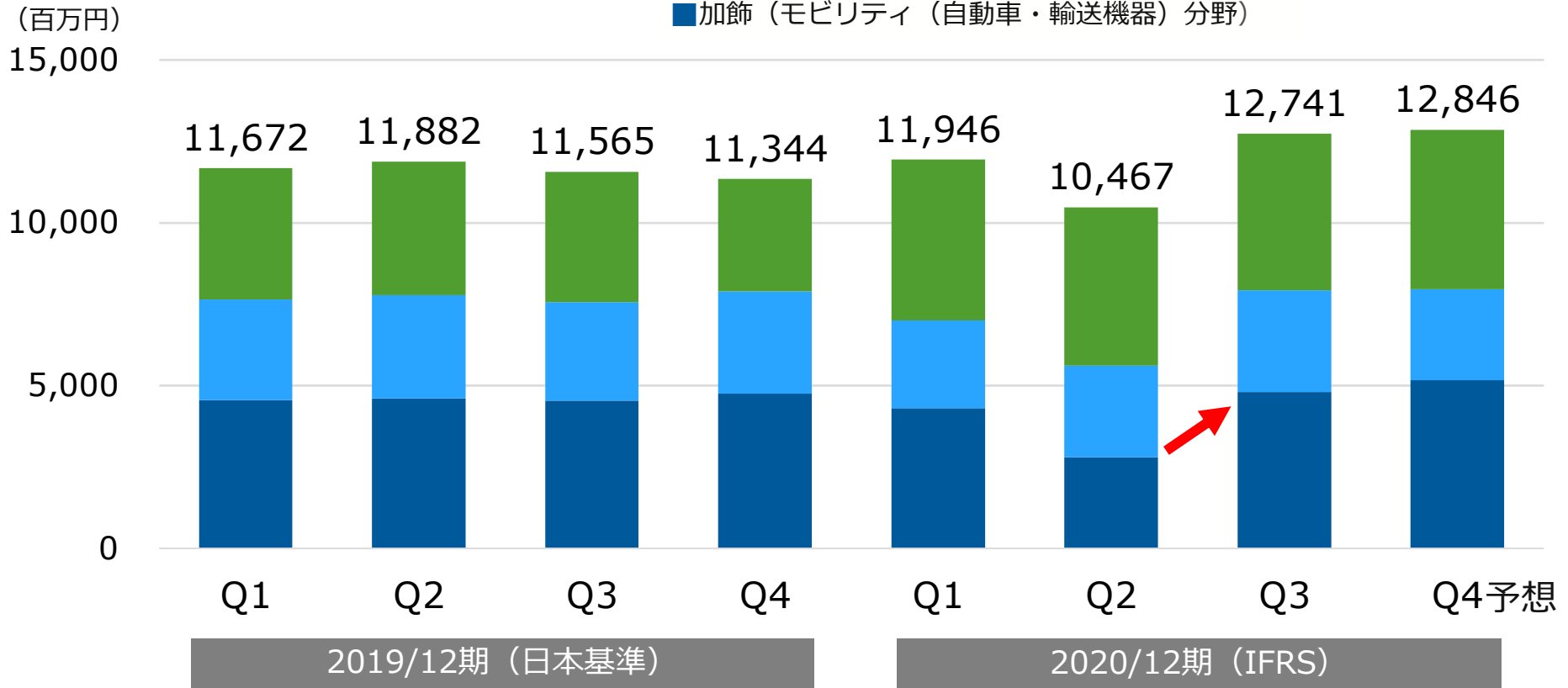
- モビリティ向けの製品需要が概ねCOVID-19以前の水準まで回復

Q4予想

- モビリティ向けは前年同期比で増収

用途別売上高（四半期）

- サステナブルパッケージ資材（蒸着紙）
- 加飾（その他分野）
- 加飾（モビリティ（自動車・輸送機器）分野）



デバイス

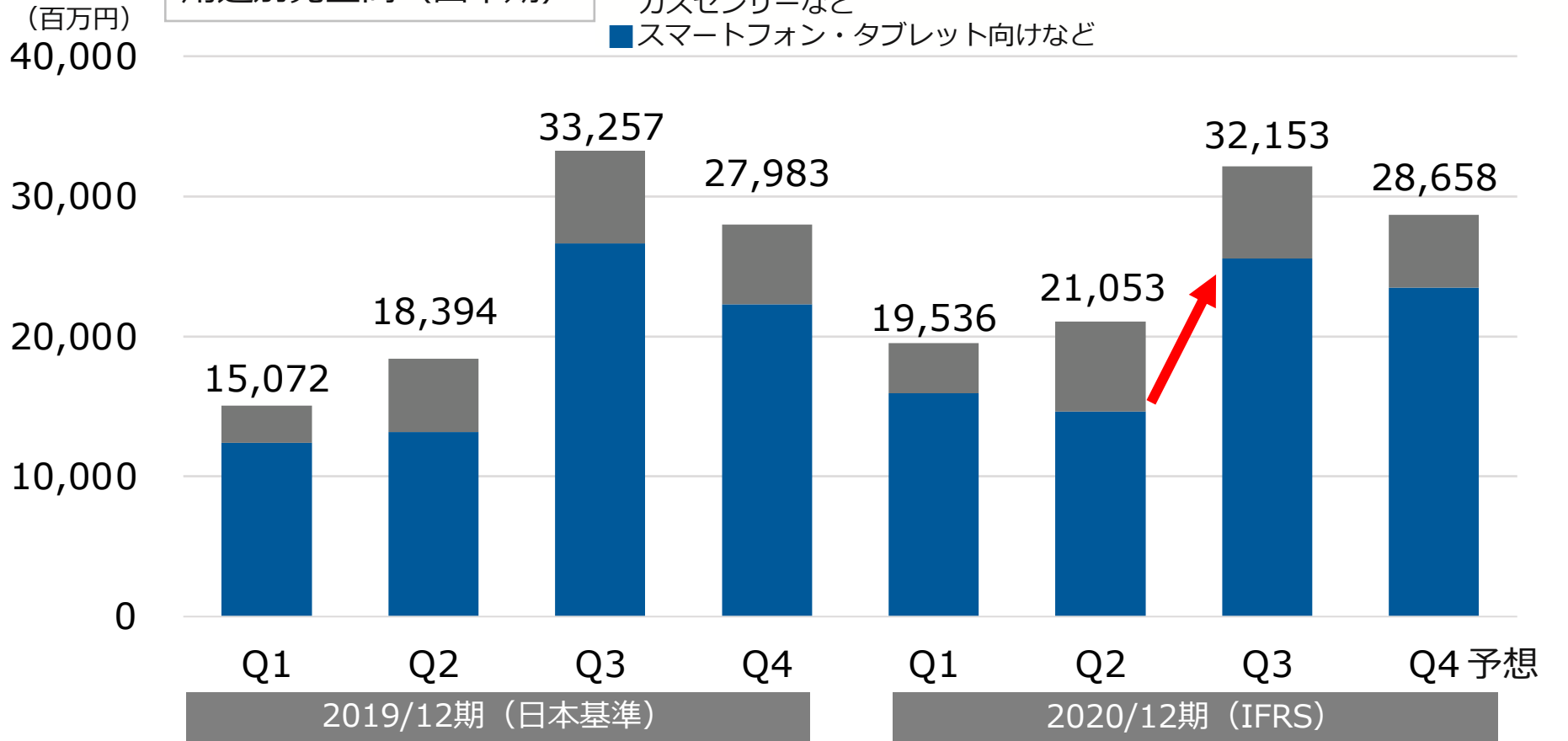
Q3結果

- スマートフォンおよびタブレット向けの製品需要が拡大
- ゲーム機および産業用端末（物流関連）の製品需要は堅調

Q4予想

- IT向けの底堅い製品需要が継続、前回予想を上振れ

用途別売上高（四半期）



メディカルテクノロジー

Q3結果

- COVID-19による受託製造の製品需要の減少を自社ブランドが吸収
- ビジネスメディアの製品需要は持ち直し

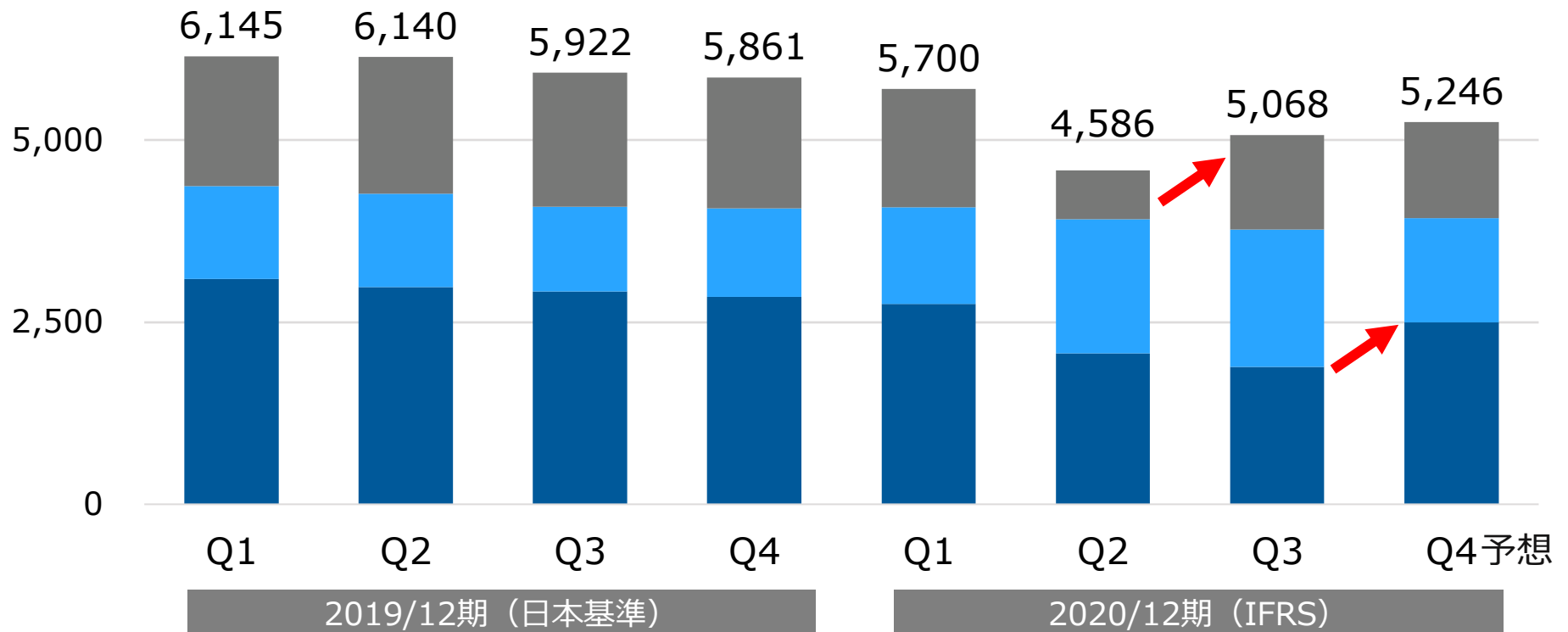
Q4予想

- 受託製造分野の製品需要の回復は緩やか、資産買収した工場の連結加算を織り込み

用途別売上高（四半期）

■ ビジネスメディア
■ 医療機器（自社ブランド）
■ 医療機器（受託製造）

(百万円)
7,500



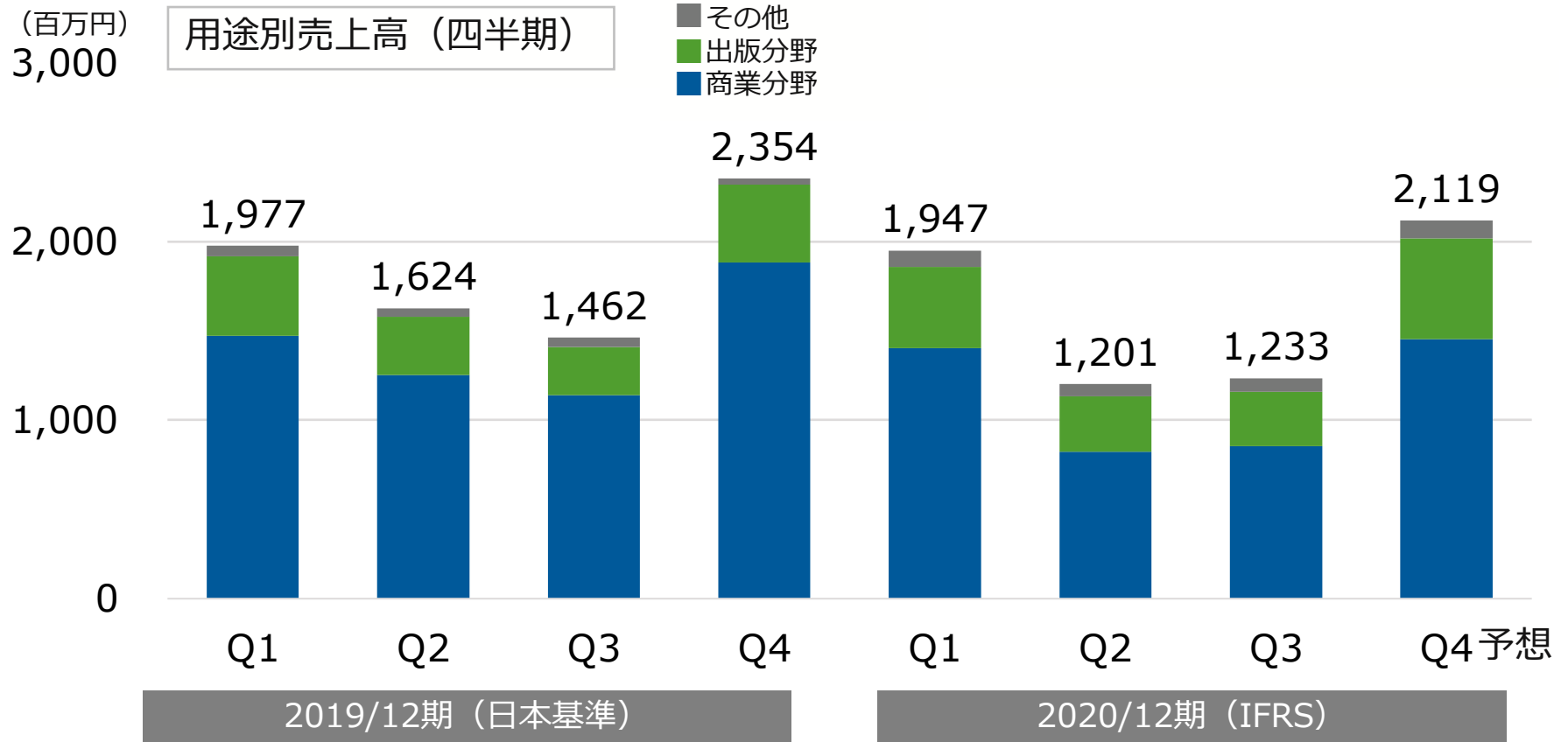
情報コミュニケーション

Q3結果

- COVID-19により商業分野（展示会、製品カタログなど）の製品需要が減少

Q4予想

- 季節的な需要回復の見通し



業績予想の変更 上方修正

EMPOWERING YOUR VISION

デバイスの製品需要が想定を上振れ、産業資材のモビリティ向けの製品需要は想定を上回るペースで回復

(百万円)

	前回予想 (8/6発表)			今回予想 (11/11発表)		
	2020/12期 通期 (1月-12月) 予想	2020/12期 H1 (1月-6月) 実績	2020/12期 H2 (7月-12月) 予想	2020/12期 通期 (1月-12月) 予想	2020/12期 H1 (1月-6月) 実績	2020/12期 H2 (7月-12月) 予想
売上高	166,000	77,164	88,836	178,000	77,164	100,836
産業資材	47,400	22,413	24,987	48,000	22,413	25,587
デバイス	88,700	40,590	48,110	101,400	40,590	60,810
メディカルテクノロジー	21,000	10,286	10,714	20,600	10,286	10,314
情報コミュニケーション	7,300	3,148	4,152	6,500	3,148	3,352
その他	1,600	725	875	1,500	725	775
営業利益	1,500	▲ 1,242	2,742	5,500	▲ 1,242	6,742
営業利益率	0.9%	-1.6%	3.1%	3.1%	-1.6%	6.7%
産業資材	▲ 500	▲ 727	227	300	▲ 727	1,027
デバイス	4,700	1,116	3,584	8,900	1,116	7,784
メディカルテクノロジー	800	360	440	900	360	540
情報コミュニケーション	0	▲ 98	98	▲ 200	▲ 98	▲ 102
その他	▲ 3,500	▲ 1,892	▲ 1,608	▲ 4,400	▲ 1,892	▲ 2,508
税引前利益	1,200	▲ 1,151	2,351	5,300	▲ 1,151	6,451
親会社の所有者に帰属する 当期 (四半期) 利益	1,300	▲ 245	1,545	4,600	▲ 245	4,845
為替レート	¥106/\$	¥107/\$	¥105/\$	¥106/\$	¥107/\$	¥105/\$

ご参考：設備投資・減価償却費及び償却費・ M&A投資・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績
設備投資	1,435	1,041	2,475
減価償却費 及び償却費	2,074	2,076	2,061
M&A投資	1,431	213	-
研究開発費	671	706	701

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。